



ライオンズクラブ国際協会 335-B地区



米国・ラスベガスでの第101回国際大会



LIONS CLUBS INTERNATIONAL

ライオンズクラブ国際協会

We Serve.

——われわれは奉仕する——



ライオンズクラブとは、世界最大の奉仕団体です。
200を超える国と地域に約140万人の会員を有し、日本では
11万人を超える会員で構成されています。「ウィ・サーブ
(われわれは奉仕する)」をモットーとして掲げ、世界の国々
で様々な奉仕活動に取り組んでいます。

ライオンズクラブの歴史

1917年

アメリカの実業家メルビン・ジョーンズが、他者への奉仕を目的としてライオンズクラブ国際協会を創立。
その理念は多くの人の心をとらえ、世界各国にクラブが結成されていきました。

1945年

ライオンズクラブ国際協会は、サンフランシスコで開かれた国際連合結成会議において主導的な役目を
果たしました。47年以来、国際経済社会理事会の民間諮問機関として活躍しています。

1952年

日本では、戦後1952年3月にライオンズクラブが誕生。その後、わずかの年月のうちに多数のクラブと会員
を集め、現在では世界第3位のライオンズ国となっています。

2007年

ライオンズクラブは、イギリスの経済紙「フィナンシャル・タイムズ」が国連グローバル・コンパクトと協力して
実施したNGOの格付けで最高位を獲得。

2017年

ライオンズクラブ国際協会発祥の地である米国イリノイ州シカゴに於いて創立100周年を迎えました。

ライオンズクラブの主な活動

献血推進活動



国内で献血が本格化した1960年代半ばから積極的に献血の推進に取り組み、小児がん等の輸血用血液の確保に大きく貢献を続けています。1989年には、日本赤十字社が創設した第1回献血推進賞を受賞しました。

視力保護活動



視覚障がい者福祉や視力保護の活動に重点を置いています。世界中から予防可能あるいは回復可能な失明をなくすことを目的に、主に発展途上国で活動を展開しています。この20年間で3,000万人以上の視力を保護または回復させる成果を収めました。



環境保全活動



後世まで美しい地球を守るため、木を植え、リサイクル事業を企画し、飲み水を提供し、あるいは町を清掃することで地域で、世界で環境問題に取り組んでいます。

糖尿病予防・治療推進活動



年間500万人以上の命を奪う糖尿病は、世界の死因の第8位となっており、その数は増え続けています。糖尿病予防の啓発活動、検査・治療プログラムを通じた医療ケアへのアクセスの拡大などを行なうことで、この世界的な健康危機に立ち向かっています。



災害救援



国内外の大規模災害に際し、その組織力を活かして被災者救援や復興支援を行なっています。災害がいつ、どこで発生しても地元のライオンズが協力して緊急に必要なものを判断し、被災者が最も必要としているサポートを迅速に提供します。東日本大震災の津波、ハイチの地震など、過去10年間で1億ドル以上を支援しました。



「ライオンズクラブが白い杖を世界に広めました」

1925年、ライオンズクラブの初の女性会員であるヘレン・ケラー女史がライオンズクラブ国際大会の記念講演で「ライオンズよ! 闇を開く十字軍の騎士たれ」と素晴らしいスピーチをして以来、ライオンズクラブは視力保護活動に力を注ぎ、1930年、イリノイ州ピオリアライオンズクラブが白い杖の普及運動をしたことがきっかけで世界中の視覚障がい者に使用されることになりました。

「ライオンズクラブの給食費支援活動で学校給食が普及しました」

1965年、岩手県内の学校の欠食児童たちに盛岡ライオンズクラブが東京・日本橋のライオンズクラブと協力して給食資金を贈ることになり、子どもたちはそのお礼にと薫り高いすずらんを摘んで送ったところから「すずらん給食」と呼ばれるようになりました。この活動と辺地の実態が報道され、当時の首相佐藤栄作を動かし、これによって辺地校の給食施策が著しく改善され、1968年に岩手県が全国に先駆けて実施率100%を達成しました。



335-B地区

大阪府・和歌山県

日本のライオンズクラブは地域ごとに35の地区に分かれています。
その中で、大阪府と和歌山県は「335-B地区」と呼ばれ、現在160以上の
クラブ、会員数約6,500名が在籍しています。その会員数の多さと組織
力を活かし、常に新鮮でパワフルな奉仕活動を展開しています。



私たちは
愛をもって
奉仕しています



一人ではできないことが
多くの仲間がいるから
実現できる…
世界を変えることが
できます



335-B地区の主な活動

Activities 困っている人の 力になれる

青少年の育成や、高齢者・障がい者への支援活動、植樹など環境保全活動……。あなたの時間と能力を奉仕活動に生かすことができます。



献血活動

大阪府・和歌山県の献血ルーム、また高校や大学などの学校に出向き、献血の呼びかけや粗品を配布したりしています。



環境保全活動

大和川や和歌山城、その他各地域での清掃活動を始め、植樹や里山づくり、またエコキャップや眼鏡リサイクル活動にも取り組んでいます。



青少年育成事業

毎年、約30カ国から来日生を受け入れ、夏には「日本国際ユースキャンプ」を開催し、世界各国との交流を図っています。また、学生(16才以上)がマレーシアやアメリカなどへ留学することで、語学の勉強や異文化交流の機会を与えています。



災害支援活動

物資支援だけではなく心のケア等も行っています。和歌山県の幼稚園などへのライフジャケットを寄贈、アラートチームを発足させ、迅速な対応に向けて準備中です。



薬物乱用防止活動

小中学校へ出向き、薬物乱用防止教室を開催しています。また様々な場所で「薬物乱用防止パレード」を行ない薬物乱用防止を呼びかけています。



仲間と手を取りあい、奉仕のネットワークを世界へ。

International 世界に広がる組織の 一員になれる

ライオンズクラブは国際的なネットワークです。国境を越えた奉仕活動や、会員同士の交流を経験することができます。



年に一度、世界各国の会員が集う国際大会

Ability 自分の中の 能力を伸ばせる

リーダーシップを磨くトレーニングへの参加や、大勢を前にしたスピーチ実践などを通じて、ビジネスの現場でも役立つスキルが身に付きます。



指導力を育成するセミナー

Friendship 友情で結ばれた仲間を増やせる

さまざまな奉仕活動やクラブ行事を通じて、職業や年齢を違いを超えた多くの仲間と、厚い友情を育むことができます。



職種や年齢を超えた友情で結ばれた会員たち(例会風景)

あなたも一緒に奉仕活動をしませんか？

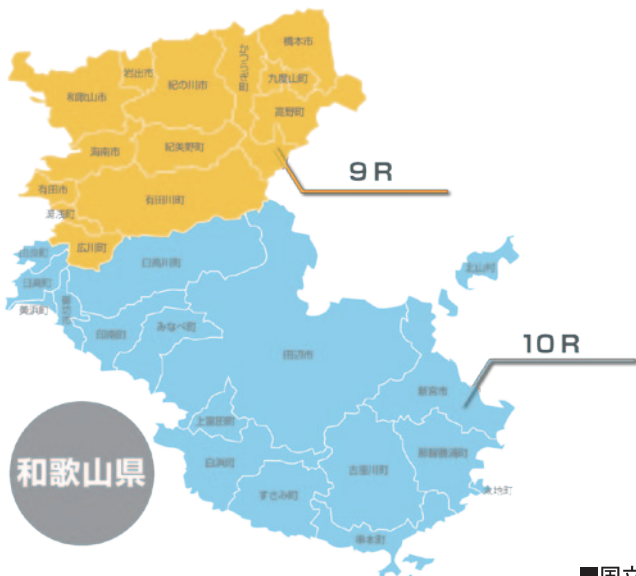
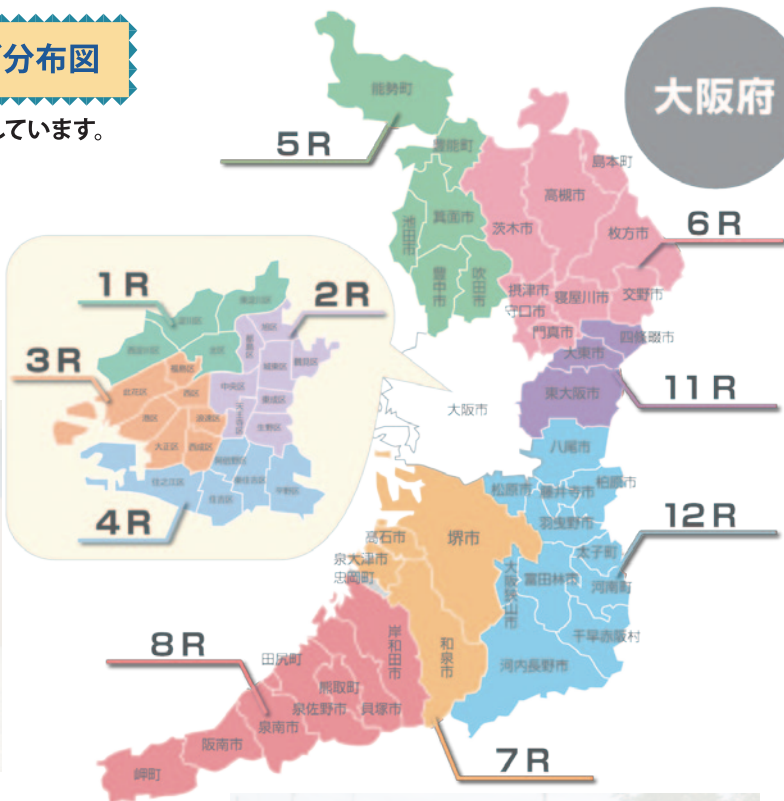
335-B地区のライオンズクラブ分布図

12の地域(リジョン<R>)に分かれて活動しています。

OSAKA



■フィリピン ボホール島ダブアン小学校建設



WAKAYAMA



■堺市内で子ども達に米づくりを体験してもらう
食育活動



■国立公園・橋杭岩海岸
での清掃活動

お問い合わせ先



詳しくは
ホームページを
ご覧ください。